

可使時間と開放時間

硬化剤	温度	0℃	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	40℃
盛夏型	可使時間	使用不可						35分	25分	15分
	歩行開放							16時間	12時間	8時間
夏 型	可使時間	使用不可				35分	25分	15分	使用不可	
	歩行開放					16時間	12時間	8時間		
春秋型	可使時間	使用不可		35分	25分	15分	使用不可			
	歩行開放			16時間	12時間	8時間				
冬 型	可使時間	使用不可	40分	30分	20分	使用不可				
	歩行開放		16時間	12時間	8時間					

注意事項

1. 塗装(施工)前

- ・氷点下または40℃以上の施工環境の場合には塗装を避けてください。
また、硬化中に凍結および結露が発生すると正常に硬化しませんので、その恐れがある場合は塗装を避けてください。
- ・下地処理は塗料の付着を決定する重要な工程です。施工仕様書をよくお読みのうえ、十分に注意して行ってください。
- ・既存塗膜に塗装する場合、既存塗膜が基材に充分付着しているか確認してください。種類がわからない場合はハエレオをご検討ください。

2. 塗装(施工)中

- ・下地が濡れている場合は、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- ・塗装中および乾燥中は、換気をよくし火気の取扱いは厳禁としてください。
- ・混合攪拌は電動攪拌機（1000rpm以上）を用いてください。
- ・混合攪拌は容器の底面および壁面付近の主剤と硬化剤がよく混ざるように注意深く混合してください。
- ・15℃を下まわる環境では主剤粘度が非常に高い状態となります。硬化剤の粘度が低いので、主剤と硬化剤を混合するときには飛び散りに注意して上の方から徐々に混合していき全体の粘度を下げてから十分に混合攪拌してください。
- ・可使時間に充分注意して塗装してください。水希釈した場合は可使時間がわかりにくくなりますので可使時間を過ぎないようにご注意ください。
- ・小分けはしないでください。
- ・塗装中に休憩する場合は、ローラーはけに含む材料が可使時間を過ぎてしまい性能に影響するので新しいものに交換してください。
- ・硬化反応による熱が発生します。主剤硬化剤混合後は容器内に留めず速やかに塗装面に撒いてください。

3. 塗装(施工)後

- ・希釈した場合、湿度が高いときは乾燥が遅れます。塗面の乾燥状態をよく確認してから次の工程に着手してください。
- ・施工道具の洗浄は、水で洗ったのち合成シンナーNo.6で仕上げ洗いをしてください。

4. 全般的注意

- ・製品使用の際にはSDS（製品安全データシート）、施工仕様書をよくお読みください。
- ・製品改良等のため製品の中身・仕様は将来予告なしに変更する場合があります。
- ・当仕様書に表示してあります塗り面積、工法はあくまで設計上の標準的な数値です。
- ・本製品は定められた用途以外には使用しないでください。
- ・ご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社

塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡 3-9-6 TEL.03-3969-3125（直通） FAX.03-3968-7300

▼事業所情報



260504KO-②

自分の作業環境は自分たちでかえる
工場床の新標準改修材

水性二液エポキシ樹脂塗料

フロアトップアクア

ユーニクス

特許取得
第7822067号



ATOMIX

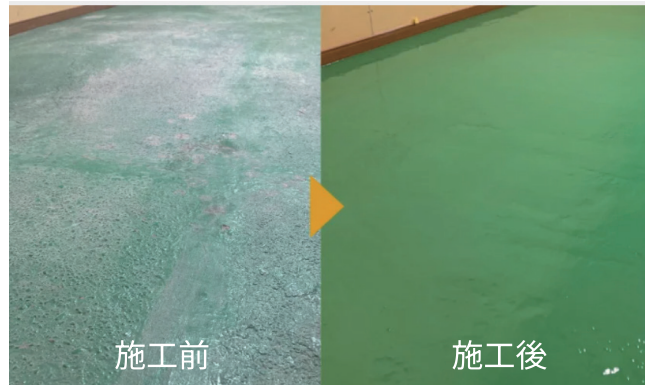
日頃の作業に、気づかないストレスはありませんか？

床の凹凸、穴、欠け、剥がれ。「作業できるから」とそのままにいませんか？
しかし、その床には作業効率や安全性に小さな負担を積み重ねています。

現場の本音として

- ・この程度の範囲で工事を頼むのは大げさだ
- ・自分の担当エリアだけで話を大きくしたくない
- ・塗れば見た目はきれいになるが、凹凸まで直らない
- ・いつもの塗料は傷みが早く、塗替えが多い

そのストレスを、我慢し続ける必要はありません。
自分たちで、直ぐに解消できる唯一の方法があります。



特 長

- ・凹凸面の不陸を修正しながら、塗装できます（特許技術）
- ・業者に頼まなくても現場の方ご自身で床の補修、改修ができます
- ・自在ホーキで塗装することによりコテでならしたような仕上がりが得られます
- ・湿度が高くても乾燥不良を起こしません（特許技術）
- ・真夏の高温環境でも使い易い盛夏型、真冬の低温環境でも硬化性に優れた硬化剤を用意しています

※特許第7822067号

用 途

工場、事務所、倉庫などの屋内床用
人、台車、フォークリフトなどの通行床、作業床

下地・既存塗膜

フロアトップアクアシリーズ各種プライマーに対応します

フロアトップアクアプライマー レパロ（耐久性を求めるコンクリート面）

フロアトップアクアプライマー ハエレオ（旧塗膜・強化コンクリート・タイル面）

フロアトップアクア 油面プライマー（油で汚れたコンクリート面）



製 品 荷 姿

【荷 姿】 9 kg セット

主 剤：7 kg ポリペール缶

硬化剤：2 kg ポリ角瓶

【4タイプ】 (春秋型・夏型・盛夏型・冬型)

【塗り面積】 約6m² (約1mm)

【光 沢】 ツヤ有り

【標準色】 4色



グリーン



ライムグリーン



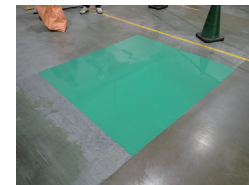
アメリカングレー



スパニッシュブラウン



※この色見本は印刷物のため実際の色調とは異なります。



塗装方法

●施工仕様例

コーティング工法／捨て塗り仕様（コンクリート面）

工 程	塗 料 名	希釈シンナー	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	—	—	—	—	—
2 プライマー	フロアトップアクア ユーニクス	水	50	0.15	5～72
3 上塗り	フロアトップアクア ユーニクス	—	—	1.00～2.00	—

コーティング工法／レパロ仕様（コンクリート面）

工 程	塗料名	希釈シンナー	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	—	—	—	—	—
2 プライマー	フロアトップアクアプライマー レパロ	水	50	0.12	2～24
3 上塗り	フロアトップアクア ユーニクス	—	—	1.00～2.00	—

コーティング工法／ハエレオ仕様（旧塗膜、強化コンクリート、タイル面）

工 程	塗 料 名	希釈シンナー	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	—	—	—	—	—
2 プライマー	フロアトップアクアプライマー ハエレオ	—	—	0.04	2～8
3 上塗り	フロアトップアクア ユーニクス	—	—	1.00～2.00	—

コーティング工法／油面プライマー仕様（油で汚れたコンクリート面）

工 程	塗 料 名	希釈シンナー	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)
1 下地処理	—	—	—	—	—
2 プライマー	フロアトップアクア 油面プライマー	—	—	0.15～0.20	2～24
3 上塗り	フロアトップアクア ユーニクス	—	—	1.00～2.00	—

- ・プライマー工程は湿度が高い時、気温の低い時は乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- ・自在ホーキ塗装の場合は新品もしくは新品同様の状態のものを使用してください。
推奨：自在ホークスベア金具付き 30cm (テラモト) ※柄をお持ちの場合



施工仕様書

unicus

